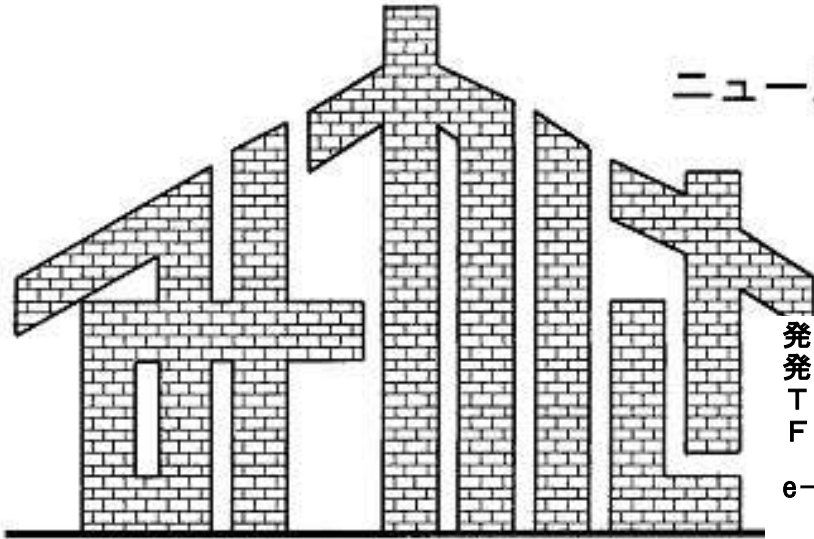


2023 年

ニュース

6

月号



発行日： 2023 年 5 月 28 日  
発行者： カトリック横須賀三笠教会  
TEL： 046-823-0042  
FAX： 046-823-1031  
e-mail： mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

げんしりよくうぼ よこすか かた  
原子力空母のいるまち横須賀を、どう語るか

め み はじ ばしよ す き  
～この目で見て、そこで初めて、とんでもない場所に住んでいると気づく～

みかさきょうかい しゆにんしさい はまさきさま み  
三笠教会 主任司祭 浜崎 眞実

よこすか ふにん ねんめ さくねん がつ げんしりよくうぼ よこすか かた  
横須賀に赴任して 6 年目になります。昨年 5 月に「原子力空母のいるまち横須賀を、どう語るか」と

しゅうかい ばねりすと はつだい ながねんよこすか す かつどう ひと しんざんもの  
の集 会でパネリストとして発題しました。長年横須賀に住んで活動している人ではなく、新参者や

もの こえ き しゆし ひら はな しょうかい ことし  
よそ者の声を聞きたいとの趣旨で開かれました。そのときに話したことを紹介します。今年

あめりか かいぐん ぐうぼ よこすか ぼこう ねん ふしめ  
アメリカ海 軍の空母が横須賀を母港としてから 50 年の節目にあたります。

げんしりよくうぼえーぶらはむ りんかーん きこう  
<原子力空母エーブラハム・リンカーンの寄港>

かとりっくきょうかい せんいんしほく と く  
カトリック教会には「船員司牧」という取り組

よこはま かわさき ふね はい  
みがあります。横浜や川崎に船が入ると、そ

せんいん しゅうきょうてき さーびす  
の船員たちに宗教 的なサービスをしたり

はなし き か もの てつだ  
話を聞いたり、買い物の手伝いをしたりする

よこはま かつどう かた  
のです。横浜でその活動をしている方から、

げんしりよくうぼえーぶらはむ りんかーん にゅうこう  
「原子力空母エーブラハム・リンカーンが入 港

はなし し ひでんわ  
するって話 だけど、知ってる？」とある日電話

ろなるど れーが ん  
がありました。わたしはロナルド・レーガンならそ

しゅっこう おも  
ろそろ出 港するのかと思っていましたが、この

くうぼ し げんしりよくうぼ  
空母のことは知りませんでした。原子力空母

えーぶらはむ りんかーん ちゃぶれん じゅうぐん  
エーブラハム・リンカーンのチャプレン( 従 軍

しさい やまてきょうかい なんにん のりくみいん ひ  
司祭)が、山手教会に何人かの乗組員を引

つ き みさ もう い  
き連れて来てミサをしたいとの申し入れがあり、

きよか だ せんいんしほく かつどう  
許可を出したとのことでした。船員司牧の活動

ひと じょうほう まわ いっしょ みさ  
をする人たちに情報 が回って、一緒にミサに

さんか はなし し き  
参加しようとの話 だけど、知っているかと聞か

れましたが、そのような動きは全く知らないし、

そういうミサにこちらから出向くこともないだろ

うと思いました。その後メールが来て「例の

エーブラハム・リンカーンのミサですが、

チャプレンがコロナ陽性で中止になったよう

です。ほっと胸をなでおろしています。日本近海

横須賀という街に住んで

横須賀に異動した当初、周りの先輩たちから

は「あまり外に出ない方がいいよ。1年間は

教会の中のことに専念した方がいい」と言

われました。それで「月例デモ」があることは知

っていましたが、参加することなく過ごしていま

した。その間、教会のみなさんから横須賀の

街について教えてもらおうとしたのですが、

情報はなかなか得られませんでした。教会と

いう場合は、司祭からの宗教的なサービスを

期待しても、横須賀の街の課題などを共有す

るという発想にはいたらないのでしょうか。

2020年には横須賀三浦市民連合の主催で、

前川喜平さんを招いて講演会がありました。

そこに参加して初めて、横須賀という地域の

課題についてナマの声を聞くことができました。

にいたこの空母を数週間前に林外務大臣

とエマニエル駐日大使がともに訪ねています

ね」と知らされました。このプロセスから、私が

感じたのは、カトリック教会が、いささか思考

停止状態で、ちょっと危ないということです。

例えば、中学校の給食への助成金が

防衛費から出ている、脱炭素に逆行する石炭

火力発電所を建設しているという問題など。

横須賀三浦地域のさまざまな課題を知ることが

できました。その集会で印象的だった発言

は「あまりものを考えない人は自然に集まっ

て仲良くなることは容易です。しかし、ものを

考えている人は、お互いの違いにこだわった

りするので、なかなか一つになれない。違いを

排除の理由にするのではなく、豊かさを受け止

めて、つながっていきたいですね」との

メッセージです。素敵だなと思いました。

横須賀は1973年にアメリカ海軍の空母の

母港となり、2008年からは原子力空母が配備

されています。横須賀三笠教会は米海軍

基地の隣で、神奈川県と米海軍基地

のゲートに挟まれたところにあります。毎朝8

時には米海軍基地からアメリカ国歌と君が代

の演奏が流れ、好き嫌いに関係なく毎日聞

かされています。教会から直線距離で約1キ

ロのところにロナルド・レーガンが停泊してい

ます。そしてほぼ同じ距離にヴェルニー公園があ

ります。約1キロ先に原子力空母が泊まってい

<3・11原発事故と原子力空母>

「3・11原発事故」が起きて、それまで原子力

発電は二酸化炭素を出さないとか、

クリーンエネルギーだとか言われてきましたが、

全部嘘だったことがわかりました。さらに

原子力発電は、差別の構造、即ち誰かに

犠牲を押しつけるものでしかないということも

はっきりしたわけです。このような問題が10

年以上もたつと、日本全体が忘れ去っていま

す。それを考えると、原子力空母を抱える

横須賀は、その問題に積極的に向き合うの

が課題です。

キリスト教会を含む宗教団体とは、お祈

りをする人たちが集まるところと受け取られま

ることに對して、誰もが普段はあまり意識しな

いで暮らしています。先日、横須賀平和船団の

船に乗り、ロナルド・レーガンからの放射性

廃棄物の搬出作業の監視と抗議活動に参加

しました。その現場に出て、そこで初めて、とん

でもない場所に自分が住んでいるのだと実感し

ました。

す。ウクライナ侵攻という災厄を起こしたプー

チン大統領も、アメリカのトランプ元大統

領も、バイデン大統領もキリスト教徒です。

キリスト者はすべて彼らと同類かといえ、違

います。

ガリヤに生きたイエスが示す神は、お祈りをし

ておけば大丈夫などとは言いません。「お前た

ち人間に任せたのだ」と言います。この地上の

問題は私たち人間の責任として解決すべ

きだというのが大事なのです。それなのに、いつ

の間にか思考停止に陥ってしまい、神さま任

せになっています。

原子力空母も原子力発電も誰かに犠牲を

お ころぞうてき さべつ  
押しつける構造的な差別のしくみをもっていま  
す。そのことを私 たちはどう 考 えるべきなの

さべつ よこすか  
か、差別をどうしたらなくせるのか、横須賀とい  
う街はそのような課題を抱えた街なのです。

ねん がつ きょうかいいんかい  
2023年 5月の教会委員会

おこな きょうかいいんかい ほうこく  
5月 7日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき きようじ かつどう  
< 典礼暦と行事・活動 >

ふくいんせんきょうぶかい  
5月 6日(土)福音宣 教部会

ふっかつせつだい しゅじつ  
7日(日)復活節第5主日

きょうかいいんかい てんれいぶかい  
教会委員会、典礼部会

ふくいんせんきょうぶかい  
13日(土)福音宣 教部会

こうざ げんぱつせいさく なに ないとうしんご ぼくし  
13:00講座「“原発政策”とは何か？」内藤新吾牧師

ふっかつせつだい しゅじつ がいこくせき ひとびと とも ささ みさ  
14日(日)復活節第 6主日 「外国籍の人々と共に捧げるミサ」

けんしんじゅんぴこうざ  
11:00 堅信準備講座

しゅ しょうてん しゅうかいさいぎ  
21日 (日) 主の昇天 集会祭儀  
教会学校

せいれいこうりん しゅじつ  
28日(日)聖霊降臨の主日

ふろれす で まよ ふらわーおふえりー  
13:00 フロレス デ マヨ(フラワーオフエリー)

えいごみさ ふらわーおふえりー  
15:00 英語ミサ、フラワーオフエリー

ふくいんせんきょうぶかい  
6月 3日(土)福音宣 教部会

さんみいったい しゅじつ ねんかんだい しゅう  
4日(日)三位一体の主日(年間第 9 週)

きょうかいいんかい てんれいぶかい  
教会委員会、典礼部会

せいたい ねんかんだい しゅう  
11日(日)キリストの聖体(年間第10 週)

けんしんしき しきょうみさ いわ  
堅信式司 教 ミサ、お祝い

ねんかんだい しゅじつ  
18日(日)年間第11主日

まな こうざ きゅうやくせいしよ よ はまさきし  
11:00 学びなおし講座「旧 約 聖書を読む」浜崎師

きょうかいがっこう  
教会学校

ねんかんだい しゅじつ  
25日(日)年間第12主日

まる こふくいんしょ よ ふくいんせんきょうぶかいしゅさい  
9:00 マルコ福音書を読む(福音宣教部会主催)

えいごみさ  
英語ミサ 15:00

しきょうみさ めい かた けんしん ひせき う みさ きょうどうきがん  
☆6月11日(日)の司教ミサで15名の方が堅信の秘跡を受けます。ミサの共同祈願の  
いこう がつまつ いの よてい じゅけんしゃ いの ねが  
意向で5月末からお祈りする予定です。受堅者のためお祈りいただきますようお願い  
します。

けんしんしきみさご じぜんご みかさようちえん かいほーる いわ ばーていー おこな  
☆堅信式ミサ後、12時前後から三笠幼稚園2階ホールにてお祝いのパーティーを行います。  
すうねん ほーる か おおぜい あつ ころな しゅうそく  
数年ぶりにホールをお借りして大勢で集まりますが、まだコロナが終息したわけではな  
かくじよぼう きつ くだ すりっぱ かず かぎ しゅつせき  
いので、各自予防には気を付けて下さい。また、スリッパの数が限られていますので、出席  
かた しつないば など じぶん かなら じさん ねが  
される方は室内履き等、ご自分で必ず持参していただくようお願いいたします。

### てんれいけんしゅうかい みさ 典礼研修会「ミサをみつめなおそう」

ご せいどう よこはまきょうく てんれいけんしゅうかい みさ  
4月30日(日)のミサ後、聖堂で横浜教区典礼研修会による「ミサをみつめなおそう」の  
やく めい さんかしんと み ごこうわ わ あ さんかしゃ  
DVDを約20名の参加信徒と見て、その後講話をもとに分かち合いをしました。参加者の  
かんそう  
感想です。

こうわ み みさ なか きりすとじしん かた  
・講話を見て、ミサの中のことばはキリスト自身が語っているのだということをあらためて  
りかい いしき いま じぶん みさ さんか しかた ちが  
理解しました。そのことを意識すると、今までの自分のミサへの参加の仕方は違っていると  
き あずか かた か  
気づき、これからの与り方も変わります。

みさ なか とな ことば じっさい はな き しんじゃひとりひとり かみ  
・ミサの中で唱える言葉を実際に話したり聞いたりすることで、信者一人一人と神とのつなが  
たが いしき  
りをお互いに意識できます。

みさ さんか きりすと まね こた しゅ つよ のぞ おう みさ  
・ミサへ参加することはキリストの招きに応えることであり、主の強い望みに応じること。ミサ  
あずか よろこ かん  
に与ることにもっと喜びを感じたい。

せんれい う きょうかい く ひ あさ こんかい けんしゅうかい みさ  
・洗礼を受け、教会へ来るようになってからまだ日が浅いので、今回の研修会でミサに  
さんか こころ よ  
参加する心がまえが良くわかりました。

みさ はじ まえ はや き せいしよ てんれい リーふれっと め ちんもく いの  
・ミサに始まる前に早く来て、「聖書と典礼」のリーフレットに目をとおし沈黙のうちに祈り、  
ころ さんか  
心 にゆとりをもって参加したい。

ペとろ ことば い よはね みさ しょう  
・ペトロの言葉「あなたをおいてだれのところに行きましょう」(ヨハネ6・68)がミサで使用され  
にほんとくゆう たい ひやくにんたいちよう すく  
るのは日本特有であるのに対し、百人隊長の「おことばをいただくだけで救われます」  
またい もんごん ぜんせかい きょうかい さいしよ とな  
(マタイ8・8)という文言は、全世界の教会で最初から唱えられていたのだということを  
はじ し しんこうこくはく かた かんが  
初めて知った。信仰告白のあり方について考えさせられた。

しんこう しんぴ とな いま お ばん しゅとお きりすと いのち  
・「信仰の神秘」と唱えるのは、今まさに起きているパンとぶどう酒を通して、キリストが命の  
かて くだ かんこ し  
糧になって下さったことを歓呼することなのだ知った。

みさまえ みさちゆう ちんもく たん むごん じょうたい かた ことば せいじつ おも  
・ミサ前、ミサ中の沈黙は単に「無言」の状態であるだけでなく、語られる言葉を誠実に思い  
じかん ことば かた もじ お おも  
めぐらす時間であるので、言葉が語られているのに文字を追うのはやめようと思った。

こんかいさんか ひと ないよう つた  
・今回参加できなかった人にも内容が伝わるようにしてほしい。

なお としょしつ お かした  
☆尚、DVDは図書室に置き、貸出しできるようにします。

よこはまきょうく うえがさいと  
横浜 教区 のウェブサイト、 <http://www.yokohama.catholic.jp> でもご覧になれます。  
てんれいぶかい さこう  
典礼部会 酒匂 みづほ

## 福音宣教部会からのお知らせ

は ねん なか こんご ねんどこうはん ねん しじゆんせつ こうそう  
早や2023年も半ばですが、今後の年度後半からおおむね2024年四 旬 節までの構想を  
が つ ぶかい きかく つた おも てーま  
この2か月あまりの部会の企画をもとにお伝えしたいと思います。テーマはあいかわらず  
な ざれ ひと いえす はじ かみ くにうんどう きょうかい  
「ナザレの人イエスが始めた『神の国運動』を受けつぐ教会」になるにはどうしたらよいか。  
ほうほう まな で きょうかい  
方法としては、「学びなおし」と「出かける教会」になろうです。

### 1 学びなおし

きゅうしんやくぜんしよ まな こうざ ねんど つづ かんが  
旧新約全書にもとづく「学びなおし講座」を2023年度も続けていきたいと 考 えます。

はまさきまさみ し きゅうやくぜんしよ よ まいつきだい にちよう じ じ ぶん しゅうかいしつ  
① 浜崎眞実師：「旧約全書を読む」：毎月第3日曜11時～12時30分(集会室)

だい かい がつ にち にち じ じ ばん  
第1回：6月18日(日)11時～12時30分

ねんど ふたた いえす しょたいめん つづ ねんどばん  
2022年度の「再びイエスに初対面する」に続く2023年度版です。

ふくいんせんきょうぶがかいしゅさい まる こふくいんしょ よ まいつきだい にちよう じ じ しゅうかいしつ  
② 福音宣教部会主催:「マルコ福音書を読む」:毎月第4日曜9時~10時(集会室)

だい かい がつ にち にち じ じ  
第1回:6月25日(日)9時~10時

しんと せいしょ よ かい ところ  
信徒による聖書を読む会の試みです。

で きょうかい  
2 出かける教会になろう

まいつき かい どよう じ じ がいぶこうし まね きほんてき みちか  
・ おおむね毎月1回の土曜(13時~15時)外部講師を招き、基本的にはわたしたちの身近で  
いま きんりんきょうかい ちいき ひとびと かんが  
「今なにごおきているのか？」を近隣教会のなかま、地域の人々とともに考えたいと  
おも  
思います。

てーま いま けいか ふ がつ にち しじゅんせつ つど つぎ みつ  
・ テーマは今までの経過を踏まえ、また3月12日の「四旬節の集い」をうけついで、次の三  
つど こうご ひら つど ぐたいてきないよう すけじゅーる こんごき  
つの集いを交互に開いていきます。「集い」の具体的内容とスケジュールは、今後決まり  
しだい じゅんじ し  
次第、順次お知らせします。

きょうこう ふうらんしすこ しのどす にほんか とりつくしきょうだん よこはましきょう したが で  
・ 教皇フランシスコ、シノドス、日本カトリック司教団、横浜司教に 従い、「出かける  
きょうかい とも あゆ きょうかい ふくいんか きょうかい つど うち つど ねが  
教会」「共に歩む教会」「福音化する教会」「集いの内なる集い」となることを願  
います。

じんけん てーま がいぶこうし れんぞくこうぎ  
① 「人権」をテーマとした外部講師による連続講座

かいちよくらうだーと し まな かい  
② 回 勅ラウダート・シを学ぶ会

きち まちよこすか かんが つど  
③ 基地の街ヨコスカを 考える集い

がつ こうぎ ないとうしんごぼくし げんぱつせいさく げんぱつせいさく  
・ 5月の講座は、内藤新吾牧師による「“原発政策”とはなにか？」でした。「原発政策」が  
きき し ぜんたいぞう  
これほどの危機をはらんだものであることを知りませんでした。全体像をわかりやすく、し  
じぶん たいけん なまなま かつ ないとうぼくし ところ かんしゃもう あ  
かもご自分の体験をもとに生々しく語ってくださった内藤牧師に心から感謝申し上げます。

しじゅんせつ つど こうし ねが たかのさとし こうし こうえんかい しな  
・ なお「四旬節の集い」の講師をお願いした高野 聡さんが講師をつとめる講演会が市内  
けいかく こんかい ないとうしんごぼくし げんぱつせいさく みっせつ  
で計画されています。今回の内藤新吾牧師の「“原発政策”とはなにか？」とも密接に  
かんけい し  
関係のあるイベントですので、お知らせします。

たかのさとし がくしゅうかい よこすかし げんしりよくかんせん ぼうさいたいさく と がつ にち ど  
高野 聡さん学習会「横須賀市の原子力艦船の防災対策を問う」6月17日(土)

かいし うゝえるく げんしりよくくうぼほこうか ぜひ と じゅうみんとうひょう せいこう  
13:30開始、ヴェルクよこすか3F(原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功

かいしゅさい  
させる会主催)

いま ぶかい きかく まな いま き こじんてき き  
今まで部会で企画した「学びなおし」「今なにごおきているのか？」を聴いて、個人的に気づ

くことは、今まで自分の頭でなにも考えてこなかったということです。いろいろな原因が考えられるけれども、教皇フランシスコのことばにもかかわらず、「どこにも出かけていなかった」からだと思います。思いかえすと、自分自身が「今ここ」に全く加わってこなかったと気づいた次第です。われながらあまりに遅い目覚めであるなあとの思いですが、これはこれでしょうがないプロセスだったのかという気もしています。ティーンエイジャーにでも戻った思いですが、後期高齢者に思春期を生きるエネルギーが残っているかどうかだろうと思っています。

(名生 尚雄)

## “原発政策”とはなにか？

……5月13日「今なにがおきているのか」の集い……

日本福音ルーテル 稔台教会 牧師 内藤新吾



私が原発問題とかかわるようになったのは、牧師となった初任地の名古屋で、野宿の日雇い労働者支援の活動をする中、原発の被ばく労働をくりかえされた年配の男性と知り合いになったことがきっかけでした。どのくらい被ばくしたかもわからず、病気になるかもしれないという恐怖がつきまとう労働環境や原発の立地そのものが、いかに

非人間的かつ不平等なものか知りました。

そして原発について学ばば学ぶほど、原子力を利用するという技術そのものの問題性、最初の採掘の段階からそのすべての工程に問題があるということ、さらに「原発政策」の背後に重大な政治的な意図が隠されていることなどを知るに至りました。

そもそも原子力とは、地中深くおさまっていた放射性物質を掘り出し、自然界ではありえない濃度に人工的に濃縮することに始まる技術であり、さらに核廃棄物を安全になん万年も保管できる地層は日本にはありません。また、核燃サイクルは原発以上に危険であり、六ヶ所再処理工場は、耐震性も低く、高レベル廃液の冷却が止まれば爆発し、大量の放射能漏れで北半球が死の世界となる恐れがあります。



さらに見逃してはならないことは、<sup>げんぱつせいさく</sup>原発政策の<sup>はいご</sup>背後にある<sup>せいじてきい</sup>政治的意図です。<sup>にっぽん</sup>日本は<sup>あめりか</sup>アメリカ  
 の<sup>さそ</sup>誘いを受けて<sup>げんぱつ</sup>原発を<sup>どうにゆう</sup>導入していきませんが、<sup>にっぽん</sup>日本が<sup>げんしりよく</sup>原子力にここまで<sup>じつ</sup>こだわるのは、<sup>えねるぎー</sup>実は  
<sup>ほんとう</sup>エネルギーのためではなく、<sup>ねら</sup>本当の<sup>べつ</sup>狙いは別にあり、それは<sup>かくぶそう</sup>核武装です。このことは、<sup>にっぽん</sup>日本が  
<sup>げんぱつどうにゆう</sup>原発導入を<sup>げんしりよく</sup>きめたときの<sup>きほんほうあん</sup>原子力基本法案の<sup>ぎあん</sup>議案  
<sup>せつめい</sup>説明でも、<sup>きしろうり</sup>また<sup>れきだい</sup>岸総理をはじめ<sup>おおも</sup>歴代の<sup>せいじか</sup>大物政治家  
<sup>なんど</sup>たちが<sup>くち</sup>何度も口にしてきたことです。



<sup>さくねん</sup>昨年<sup>なつ</sup>の夏、<sup>とつじょ</sup>突如として<sup>だ</sup>出された「<sup>げんぱつ</sup>原発政策の  
<sup>だいてんかん</sup>大転換」案は、<sup>あん</sup>岸田首相の<sup>きしだしゅしょう</sup>発案というより、この  
<sup>きかい</sup>機会を<sup>ねら</sup>狙っていた<sup>けいざいさんぎょうしょう</sup>経済産業省の<sup>はつあん</sup>発案であること  
<sup>ようい</sup>は<sup>そうぞう</sup>容易に想像できるところです。しかし、<sup>せいふ</sup>どのように  
<sup>すす</sup>政府が進めようとも、<sup>せいさく</sup>よくない<sup>せいいてい</sup>政策や<sup>ほう</sup>制定された法  
<sup>か</sup>は、<sup>しんじつ</sup>また<sup>し</sup>変えることができます。真実を知り、<sup>つた</sup>伝えて  
<sup>だいじ</sup>いくことが大事です。

<sup>きょうかい</sup>【教会歳時記】<sup>さいじき</sup>6月<sup>がつ</sup>は<sup>いえす</sup>イエスの<sup>こころ</sup>み心<sup>つき</sup>の月



<sup>いえす</sup>イエスの<sup>こころ</sup>み心は  
<sup>ぜんじんるい</sup>全人類<sup>たい</sup>に対する  
<sup>かみ</sup>神の<sup>あい</sup>愛の<sup>しょうちよう</sup>象徴  
<sup>いえす</sup>としてイエスの  
<sup>しんぞう</sup>心臓<sup>あらわ</sup>を表し、その  
<sup>しんじん</sup>信心<sup>いえす</sup>はイエスの  
<sup>こころ</sup>み心<sup>あらわ</sup>に表される

<sup>かみ</sup>神の<sup>あい</sup>愛を<sup>おも</sup>思い<sup>お</sup>起こし、<sup>むげん</sup>その無限の<sup>あい</sup>愛の<sup>しるし</sup>しるし  
<sup>こころ</sup>である<sup>ちゆうせい</sup>み心を<sup>ちゆうせい</sup>たたえるものとして<sup>ちゆうせい</sup>中世に  
<sup>はじめ</sup>はじま<sup>はじめ</sup>りました。

<sup>とく</sup>特に<sup>まりあ</sup>聖マルガリタ・<sup>あらこっく</sup>マリア・アラコック  
<sup>こころ</sup>(1647~90)が<sup>しんじん</sup>み心の<sup>しんじん</sup>信心<sup>しんじん</sup>についての

<sup>けいじ</sup>啓示<sup>う</sup>を受けて<sup>せいせき</sup>17世紀<sup>ふらんす</sup>にフランスで<sup>ひろ</sup>広まり<sup>ま</sup>ま  
<sup>した</sup>した。1675年6月16日、この<sup>せいじよ</sup>聖女は  
<sup>せいたい</sup>ご聖体<sup>まえ</sup>を<sup>いえす</sup>前にして、<sup>あい</sup>イエスの<sup>あい</sup>愛に<sup>こたえたい</sup>こたえたい  
<sup>おも</sup>という<sup>か</sup>思い<sup>か</sup>に<sup>いえす</sup>駆<sup>か</sup>られました。そのとき<sup>いえす</sup>イエス  
<sup>あいじよう</sup>は、<sup>も</sup>愛情<sup>こころ</sup>に燃えている<sup>しめ</sup>み心<sup>ひとびと</sup>を示して、<sup>ひとびと</sup>人々  
<sup>あいだ</sup>の<sup>そんざい</sup>間に<sup>れいたん</sup>存在する<sup>こころ</sup>冷淡な<sup>なげ</sup>心を<sup>なげ</sup>嘆<sup>なげ</sup>かれ、  
<sup>いえす</sup>イエス<sup>じしん</sup>自身の<sup>あい</sup>愛に<sup>なら</sup>倣<sup>こころ</sup>って<sup>とおと</sup>その<sup>とおと</sup>心を<sup>とおと</sup>尊<sup>とおと</sup>ぶ<sup>こ</sup>こ  
<sup>すす</sup>とを<sup>すす</sup>勧め<sup>すす</sup>られました。

<sup>いえす</sup>また<sup>しゅつげん</sup>このような<sup>すうかい</sup>イエスの<sup>すうかい</sup>出現<sup>すうかい</sup>が<sup>すうかい</sup>数回<sup>すうかい</sup>にも  
<sup>およ</sup>およ<sup>せいいたい</sup>び、<sup>しゅくじつ</sup>ご聖体<sup>きりすと</sup>の<sup>せいいたい</sup>祝日<sup>せいいたい</sup>(キリストの<sup>せいいたい</sup>聖体)<sup>せいいたい</sup>後  
<sup>きんようび</sup>の<sup>こころ</sup>金曜日<sup>れいはい</sup>を<sup>とくべつ</sup>み心<sup>しゅくじつ</sup>を<sup>しゅくじつ</sup>礼拝<sup>しゅくじつ</sup>する<sup>しゅくじつ</sup>特別な<sup>しゅくじつ</sup>祝日

として定めるようにとのお告げにより、み  
ころ しんじん ないよう けいしき めいかく  
心の信心の内容と形式が明確にされるよ  
うになりました。

そして 1856年に教皇ピオ9世によつ  
いえす ころろ さいじつ せいたい しゅくじつご  
てイエスのみ心の祭日のご聖体の祝日後  
きんようび ぜんせかい いわ  
の金曜日に全世界で祝うことが  
さだ せいたい ころろ しゅじつ  
定められました。ご聖体とみ心の主日がお  
がつ いわ  
およそ6月に祝われるというこのような  
れきし しだい がつ いえす ころろ  
歴史からして、次第に6月が「イエスのみ心  
つき しぜん しんとう せいてい  
の月」と自然に浸透し、制定されてきたこと  
じゅうぶん かんが  
は十分に考えられます。

きょうこう ベネ でいくと せい いえずすかい  
教皇ベネディクト16世は、イエズス会の  
ころろ えんぱっ は そうちようあて ころろ しんじん  
コルヴェンバツハ総長宛に、み心の信心  
すす ぴお せいかいちよく はうりえていす  
を勧めたピオ12世回勅『ハウリエティス・  
あくあす はっが  
アクアス』(1956年5月15日)発布50  
しゅうねん きねん しょかん  
周年を記念する書簡(2006年5月15  
づけ はっびよう おく  
日付。発表は5月23日)を送り、こう  
の  
述べています。

やり さ つらぬ いえす わきばら よはね  
「槍で刺し貫かれたイエスの脇腹(ヨハネ  
しょう せつさんしょう れいはい かんそう  
19章34節参照)を礼拝しながら観想す  
ることにより、わたしたちは、人びとを救おう  
と神のみ旨を感じるようになるよ  
うになります。……「槍で刺し貫かれた脇腹」  
うち かん かぎ すく むね かがや  
の内に神の限りない救いのみ旨が輝いて  
わきばら あお み  
います。ですから、この脇腹を仰ぎ見ること  
ころろ しんじん か こ れいはい しんじん  
(み心の信心)を、過去の礼拝ないし信心  
かたち かんが さ つらぬ  
の形と考えてはなりません。刺し貫かれた  
ころろ しょうちよう れきしてき しんじん ひょうげん  
心という象徴に歴史的な信心の表現を

み かんけい ころろ しんじん きょうかい きそ  
見いだした神の愛の礼拝は、神との生きた  
かんけい ふかけつ つづ  
関係にとって不可欠なものであり続けます」。

ころろ しんじん きょうかい きそ  
み心の信心は、教会において基礎とな  
きりすときょう ちゅうしん  
るものであり、キリスト教の中心といえる  
いえす ころろ かぎ  
ものでありますから、イエスのみ心の限りな  
あい たい かぎ あい  
い愛に対して、できる限りの愛をもってこた  
ころろ しんじん もくてき  
えるというみ心の信心の目的をしっかりと  
とく つき す  
もちながら特にこの月を過ごしていきたい  
かとりつくちゅうおうきょうぎかい  
ものです。(カトリック中央協議会HP「よくある  
しつもん  
質問」より)

#### とりびあ はつきん はつきんようび 【トリビア】初金(初金曜日)

はつきん もじ そうぞう  
「初金」とは、文字から想像できるように、  
つき さいしょ きんようび さ  
月の最初の金曜日のことを指しています。  
かとりつく きょうかい せいき  
カトリック教会では、17世紀から、この  
はつきんようび しんじん しんじん  
「初金曜日」の信心をしています。この信心の  
せいじよ まるがりた まりあ  
はじめりは、聖女マルガリタ・マリア・  
あらこつく いえす きりすと しゅつげん  
アラコックにイエス・キリストがご出現にな  
つみ つぐな かげつかんつづ  
り、「罪の償いのために、9か月間続けて、  
まいつき さいしょ きんようび みさ  
毎月の最初の金曜日に、ミサにあずかり  
せいたいはいりよう つみ なか し  
聖体拝領をすれば、罪の中に死ぬことは  
いえす みころろ う い  
なく、イエスの聖心に受け入れられるであろ  
やくそく ゆらい  
う」とお約束なされたことに由来しています。  
いらい はつきん しんじん ぜんせかい きょうかい  
以来、初金の信心は全世界の教会に  
ひろ きょう せいばうろじよし  
広がり、今日にいたっています。(聖パウロ女子  
しゅうどうかい じよしばうろかい きりすときょうまめちしき  
修道会(女子パウロ会)HP「キリスト教 マメ知識」よ  
り)